

**製品名: 接合部接着分子 1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe02181**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.64mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 33 kDa; Observed MW: 33 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	F11R
別名	F11R; JAM1; JCAM; Junctional adhesion molecule A; JAM-A; Junctional adhesion molecule 1; JAM-1; Platelet F11 receptor; Platelet adhesion molecule 1; PAM-1; CD321
遺伝子 ID	50848
SwissProt ID	Q9Y624
免疫原	ヒト接合部接着分子 1 の合成ペプチド

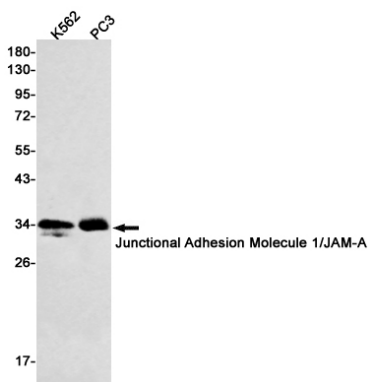
**背景**

上皮タイトジャンクションの形成に関与していると考えられる。原始的な細胞接合の初期段階に出現し、PARD3をリクルートする。PARD6-PARD3複合体の会合は、PARD3とJAM1の相互作用を阻害し、タイトジャンクションの形成を阻害する可能性がある(相同性に基づく)。上皮バリアの完全性に関わる単球遊走の制御に関与する。血小板活性化にも関与する。オルソレオウイルス感染時には、ウイルスの受容体として機能する。

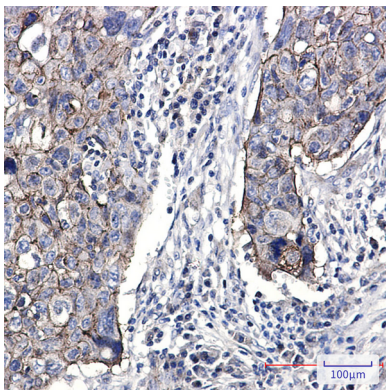
## 研究分野

心血管系

## 画像データ



Junctional Adhesion Molecule 1 抗体を使用した、K562、PC-3 溶解物中の Junctional Adhesion Molecule 1/JAMA のウェスタン プロット分析。



Junctional Adhesion Molecule 1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。